

令和7年度 アオコ情報（河川 No. 2）

7月10日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}は、新川がアオコレベルで2相当^{※2}、備前川がアオコレベルで最大1相当、土浦沖合がアオコレベルで最大2相当でした。

新川、備前川及び土浦沖合のアオコレベル

<新川>

- ・ 神天橋、新港橋及び新川河口沖でアオコレベル2相当(フィコシアニン濃度:174~200 µg/L)でした。

<備前川>

- ・ 岩田橋でアオコレベル1相当(フィコシアニン濃度:108 µg/L)、竹中橋及び備前川河口沖でアオコレベル0相当(フィコシアニン濃度:33~46 µg/L)でした。

<土浦沖合>

- ・ 土浦沖合①でアオコレベル1相当(フィコシアニン濃度:132 µg/L)、土浦沖合②でアオコレベル2相当(フィコシアニン濃度:169 µg/L)でした。

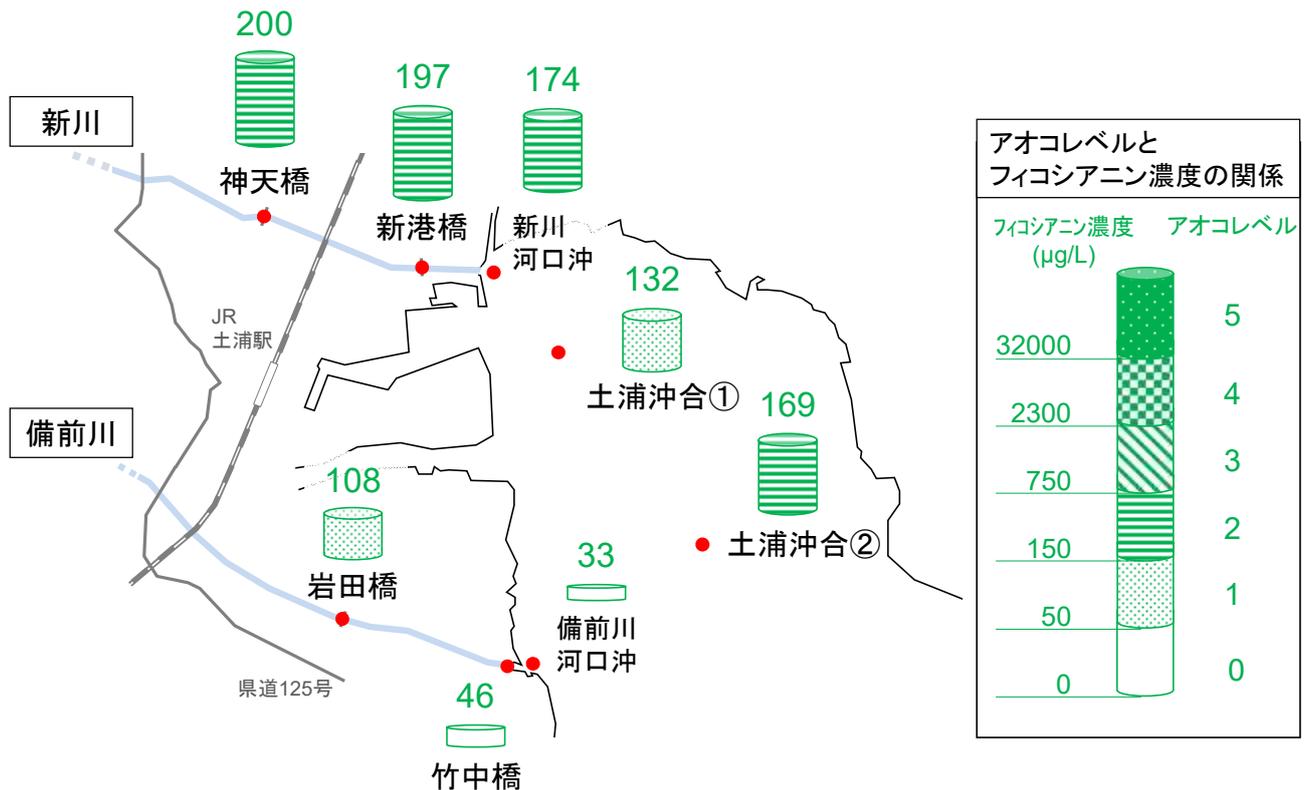


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			備前川			土浦沖合	
	神天橋	新港橋	河口沖	岩田橋	竹中橋	河口沖	①	②
採水時刻	7月10日							
	11:40	12:05	10:00	13:00	13:10	9:20	9:48	9:35
水温(°C)	32.1	32.5	33.5	33.5	32.5	32.5	33.5	32.4
pH	8.4	7.6	9.4	8.9	8.8	8.6	9.3	9.2
EC (mS/m)	29.4	33.4	29.7	27.1	27.6	29.2	29.9	29.1
透視度 (cm)	20	22	19	15	20	27	23	23
フィコシアニン (µg/L)	200	197	174	108	46	33	132	169
クロロフィルa (µg/L)	174	139	118	101	52	36	63	117

● (参考) アオコレベル

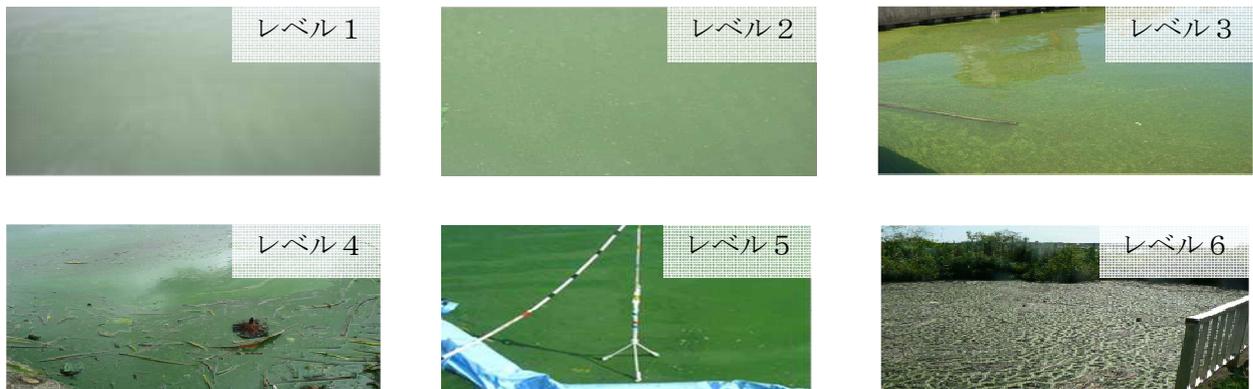


図2 アオコレベル